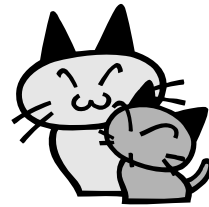


介護保険が始まった



気持ちのいい時間、  
空間を、つくって  
いきたい。



南寿園の介護福祉士・勝浦美香子さん



デイサービスのひととき

介護保険を支えるのは、人の力です。なかでも若い人たちのがんばりが、高齢社会を支える大きな柱となっています。上北手の特別養護老人ホーム、南寿園で働く勝浦美香子さん(23歳)もその一人。短大で介護福祉士の資格をとり、福祉の現場で働き始めて四年目。高校の夏休みに福祉施設でボランティア体験をしたのが、この道に入ったきっかけだそうです。「お年寄りのかたがたは、みなさんそれぞれ個性があるので、一人ひとりに合った介助を考えています。大変なこともあります。好きな仕事なので苦になりません。介護保険が始まって、介護サービスが『選ばれる』ものになりました。この施設で気持ちのいい時間、空間をつくらせていきたいと思っています」と、勝浦さん。

この日の南寿園には、福祉専門学校の男子学生(表紙写真)も介護実習に来ていました。新しい制度が動きだし、それを支えるたくさんの人がいて、安心の高齢社会を築いていけたらいいですね。

気軽においでください

## 県介護実習・普及センター



いろいろな福祉用具や住宅改造モデルの展示が、とても参考になります



御所野の中央シルバーバリエリアにある、県介護実習・普及センターでは、福祉用具や住宅改造モデルを展示したり、いろいろな介護講座を開いたりしています。また、お年寄りや家族のかたからの各種相談も受けています。お気軽にご利用ください。